

土石防だより



高原の初夏（伊豆スカイライン、玄岳）

静岡県支部通常総会	2
(一社)全国治水砂防協会通常総会	3
土石災害防止月間の活動	4
•急傾斜地パトロールの実施	
•「みんなで防ごう土石災害～砂防フェスティバル～」の開催	
土石災害・全国防災訓練を実施	6
平成29年 土石災害の発生と対応状況	7
平成28年度砂防関係事業の代表的な完成箇所	8
わがまち(御前崎市・菊川市)	9
インフォメーション	10
募集・お知らせ	12

特集

第72回全国治水砂防協会 静岡県支部通常総会

土石災害防止月間の活動

土石災害・全国防災訓練を実施

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催

全国治水砂防協会静岡県支部
2回 通常 総



原田支部長の挨拶

5月31日(水)、全国治水砂防協会静岡県支部の平成29年度(第72回)通常総会を静岡市内で開催しました。

議事に先立ち、支部長の原田袋井市長が、土砂災害は住民の命に直結する自然災害であり、約7割が山地である当県には18,581箇所と多くの土砂災害危険箇所があることから、土砂災害から県民の生命・財産を守る砂防関係事業の推進とともに、砂防協会による啓蒙活動、会員相互の連携及び国や県との協調が重要であると訴えました。

続いて、難波副知事、山田県議会副議長、栗原国土交通省砂防計画課長、南全国治水砂防協会常勤顧問より御祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成28年度の事業報告・収支決算報告、平成29年度の事業計画・収支予算、役員の改選等が原案どおり承認されました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。

回 通常



難波副知事の挨拶

水砂防協会静岡県支部
通常 総



栗原砂防計画課長の挨拶

通常 総



南常勤顧問の挨拶



山田県議会副議長の挨拶

役員の改選結果

支部総会で役員の改選(案)が承認され、平成29・30年度の役員が決定しました。

支部長：原田英之 袋井市長 副支部長：須藤秀忠 富士宮市長、菊地 豊 伊豆市長

会計監査役：相馬宏行 河津町長、鈴木敏夫 川根本町長

委員：田辺信宏 静岡市長、鈴木康友 浜松市長、豊岡武士 三島市長、小野達也 伊東市長、
中野弘道 焼津市長、西原茂樹 牧之原市長、太田長八 東伊豆町長、込山正秀 小山町長

顧問：鈴木克英 静岡県交通基盤部長 常任幹事：大滝和広 静岡県河川砂防局技監

土砂災害防止講習会が開催される

静岡県支部通常総会終了後、各市町長、県内直轄砂防事務所長及び各土木事務所長等多くの参加者のもと、土砂災害防止講習会を開催しました。

栗原国土交通省砂防計画課長には「砂防行政に関する最近の話題」と題し、全国の土砂災害の発生状況とその対応、土砂災害防止法の一部改正の概要などについて講演していただきました。また、南全国治水砂防協会常勤顧問には、「地域保全のこれから」と題し、国土を保全する土砂災害対策の歩み、ハード対策の推進とソフト対策の拡充及び今後の取組の方向性などについて講演していただきました。



栗原砂防計画課長の講演



南常勤顧問の講演



講習会の様子

全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月25日(木)、(一社)全国治水砂防協会の平成29年度(第81回)通常総会が、会員多数の出席のもと、砂防会館で開催されました。

当日は、静岡県選出国會議員をはじめ多くの国會議員が来賓として御出席されました。当支部からは支部長の原田袋井市長をはじめ7名の会員に御出席いただきました。

綿貫会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、平成28年度の事業報告・収支決算報告、平成29年度の事業計画・収支予算等が原案どおり承認されました。

また、総会開会に先立ち、昨年引き続き、語り部(かたりすと)としてご活躍中の平野啓子氏(静岡県沼津市出身、大阪芸術大学放送学科教授、元NHKキャスター)による『「語り」と砂防と私』と題した特別講演が行われました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



総会の様子



綿貫会長の挨拶



平野氏の講演

本県の参加市町

袋井市、富士宮市、伊豆市、
東伊豆町、島田市、伊豆の国市、
川根本町(計7市町) ※太字は本人参加

平成29年度「土砂災害防止月間」

6月1日(木)～30日(金)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線や台風により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「みんなで防ごう土砂災害」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施 など

表[平成28年に発生した土砂災害件数]

H28年土砂災害発生	土石流	地すべり	がけ崩れ	計	死者・行方不明者
全国土砂災害発生件数	399	53	1,040	1,492	18
静岡県土砂災害発生件数	1	0	17	18	0



立看板の設置(静岡県庁正面玄関)

～住民と砂防ボランティアとの協働～

1 急傾斜地パトロールの実施

6月1日から6月30日に、県内の急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、危機管理局、市町、警察、消防等の関係機関と連携して、土砂災害防止施設の異状の有無、法面の崩壊、排水路の機能状況などの点検をしました。

施設の破損や小規模な崩壊などの、異状が確認された箇所については、施設の修繕や応急的な対策を実施していきます。



急傾斜地パトロールの状況

2 市町における広報活動の取組み

各市町では、広報誌、ホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎の横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発広報の実施、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。



懸垂幕掲示(富士宮市)



平成29年度 土砂災害防止月間ポスター

の取り組み

広報誌への掲載	静岡市、沼津市、三島市、富士宮市、富士市、焼津市、掛川市、御殿場市、下田市、裾野市、湖西市、御前崎市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、小山町、川根本町、砂防課（21市町）
ホームページにおける広報	沼津市、三島市、袋井市、砂防課（3市）
横断幕、懸垂幕、立看板の掲示	静岡市、浜松市、沼津市、富士宮市、伊東市、磐田市、下田市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、川根本町、熱海土木事務所、沼津土木事務所、富士土木事務所、静岡土木事務所、袋井土木事務所、砂防課（17市町）
土砂災害防止講習会の開催	浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、伊豆市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、森町（27市町）
ラジオ、テレビ放送	ラジオ放送：浜松市、島田市、富士市、御殿場市、砂防課 テレビ放送：テレビ番組「ふじのくに広聴広報課！」（砂防課）
ポスター掲示	県内市町関係機関、県土木事務所、砂防課、県内イオン・ユニー28店舗

3 みんなで防ごう土砂災害 ～砂防フェスティバル2017～

6月10日(土)、土砂災害の恐ろしさや、砂防関係事業の重要性を県民のみなさまに理解していただくため、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2017～」が開催されました。

このイベントは、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡地方気象台、静岡県、静岡市の共催により開催されているもので、土砂災害防止に関するパネルや模型展示、地理情報システム(静岡県GIS)による危険箇所や避難地を確認する体験などの啓発活動が行われました。



パネル説明の様子



地理情報システム(静岡県GIS)による危険箇所等の確認

会場の様子



会場にはふじっぴーも登場



砂防堰堤パーパークラフトや塗り絵の実施

土砂災害・全国防災訓練を実施

～「日頃の備え」と「早めの避難」家族を守る合い言葉～

6月4日(日)、県下一斉に「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。

これは、6月の「土砂災害防止月間」の取組の1つとして、全国統一実施日を中心に、土砂災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を図ることを目的に、国、県、市町、地域住民等が連携し、避難訓練を実施しています。

本県では、統一実施日に29市町で地域住民や行政関係者など約2,800人が参加し、避難勧告に伴う住民や要配慮者等の避難訓練の他、情報伝達訓練、ハザードマップの作成、土砂災害に関する講習会などを実施しました。

また、6月4日以外の日には、6市町で訓練を行い、本年は県内全市町で避難訓練を実施します。



藤枝市(要配慮者の避難支援)

訓練参加市町

◆6月4日(統一)実施 (29市町)

浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、伊豆市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、川根本町、森町

◆統一日以外の実施 (6市町)

静岡市、掛川市、湖西市、御前崎市、南伊豆町、吉田町

(県内全35市町)

訓練の状況



住民避難の様子
(6月4日:伊東市)



要配慮者利用施設での訓練
(6月4日:清水町)



避難路の確認
(6月4日:裾野市)



手作りハザードマップ作成
(6月4日:富士市)



砂防課職員による講習会
(6月4日:浜松市)



市と住民による危険箇所の確認
(6月4日:磐田市)



住民避難の様子
(6月4日:焼津市)



避難路を現地で確認
(6月4日:長泉町)



対策本部の設置
(6月4日:函南町)



照明車の紹介
(6月4日:伊豆市)



土のう積み訓練
(6月4日:下田市)



情報伝達の様子
(6月4日:袋井市)

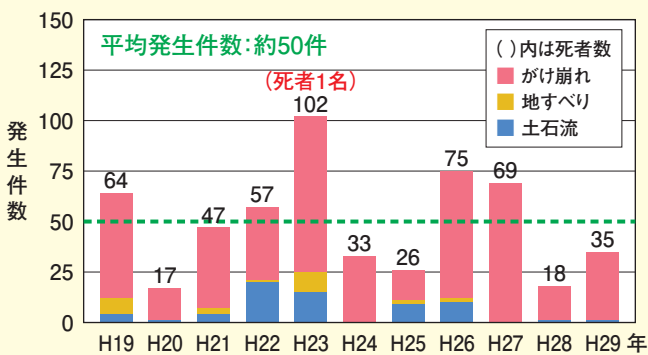
土砂災害の発生と対応状況

土砂災害は、降雨や地震などにより突然発生し、尊い生命や貴重な財産を一瞬にして奪い、地域に深刻な被害をもたらすおそろしい自然災害です。本県では、近年人的被害は発生していないものの、年平均約50件の土砂災害が発生しています。

平成28年の発生件数は年平均を下回る18件でしたが、平成29年は4月17から18日の豪雨などにより、既に35件の土砂災害が発生し、1名の方が軽傷、住宅一部損壊7戸の被害が生じています。

一方、「西本郷一丁目(下田市)」と「山田ヶ谷(御前崎市)」等では、擁壁工が崩壊土砂や倒木をくい止め、人家への被害を防ぐことができました。

県内の土砂災害発生状況 (H29は6月末現在)



西雲名B(浜松市)のがけ崩れ
(1名軽傷・住宅一部損壊)



西本郷一丁目(下田市)の施設効果

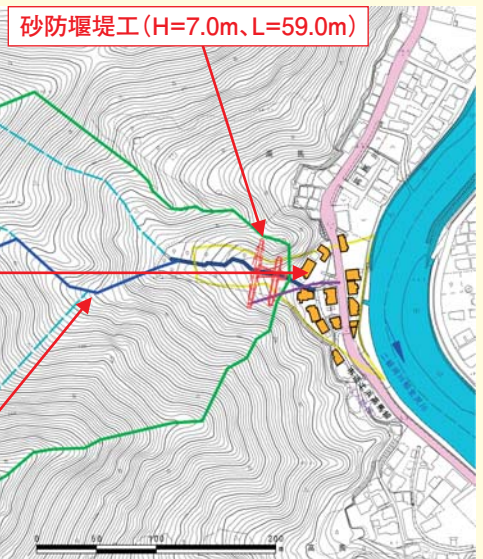
たこうまかみさわ

「高馬上沢(下田市)」が災害関連緊急砂防事業に採択されました!

4月17から18日の豪雨により「高馬上沢(下田市)」で発生した土石流災害について、再度災害を防止する災害関連緊急砂防事業が5月19日付けで採択されました。

今後、詳細設計や用地の取得等を早急に進め、砂防堰堤工の早期完成を目指します。

溪流名	設置種別	計画諸元	保全対象	採択額(百万円)	採択日
高馬上沢	砂防堰堤工	H=7.0m L=59.0m	・人家 13戸 ・市道 L=280m	182.27	H29.5.19



土石流発生状況

不安定土砂の堆積状況

砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

ふっさわがわ
●**仏沢川 砂防堰堤工**
(賀茂郡西伊豆町田子地先)



仏沢川では、平成25年7月の豪雨により甚大な被害が生じたため、災害関連緊急砂防事業等にて砂防堰堤1基を整備し、下流域の人家24戸と国道の安全を図りました。

あらしはまかわ
●**安良里浜川 砂防堰堤工**
(賀茂郡西伊豆町安良里地先)



安良里浜川では、平成25年7月の豪雨により甚大な被害が生じたため、災害関連緊急砂防事業等にて砂防堰堤1基を整備し、下流域の人家80戸と国道の安全を図りました。

うえのかわ
●**上野川 溪流保全工**
(駿東郡小山町中日向地先)



上野川では、溪流保全工L=198mを整備し、溪流の安全を図りました。

しもおきたさわ
●**下沖田沢 砂防堰堤工**
(藤枝市下之郷地先)



下沖田沢では、砂防堰堤1基を整備し、下流域の人家31戸、葉梨小学校及び県道の安全を図りました。

●**砂防事業** ※平成28年度に工事を実施し完成した箇所が対象 ※()内は災害関連砂防事業費

箇所名	事業所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
仏沢川	下田土木	賀茂郡西伊豆町田子	314(248)	H25	砂防堰堤工 H=11.5m、L=54.0m
安良里浜川	下田土木	賀茂郡西伊豆町安良里	372(213)	H25	砂防堰堤工 H=7.0m、L=41.0m
地藏堂川	沼津土木	駿東郡小山町竹之下	71	H25	砂防堰堤補強工 H=7.0m、L=50.0m
上野川	沼津土木	駿東郡小山町中日向	62	H26	溪流保全工 L=198m
下沖田沢	島田土木	藤枝市下之郷	122	H24	砂防堰堤工 H=7.0m、L=39.0m
熊切川	浜松土木	浜松市天竜区春野町田河内	56	H25	溪流保全工 L=144m

急傾斜地崩壊対策事業

こうちまつお
●**河内松尾 擁壁工**
(下田市河内地内)



急傾斜地崩壊対策工事として待受け擁壁工を実施し、人家5戸の安全を図りました。

たごみなみやま
●**田子南山 擁壁工**
(賀茂郡西伊豆町田子地内)



急傾斜地崩壊対策工事として待受け擁壁工を実施し、人家27戸の安全を図りました。

地すべり対策事業

まつしましとろにき
●**松島志戸呂2期地すべり アンカー工**
(島田市菊川地内)



地すべり対策事業を平成23年度から実施し、人家36戸、農地13.59haの安全を図りました。

くらみみつこしま
●**倉真三子島A 擁壁工**
(掛川市倉真地内)



急傾斜地崩壊対策工事として待受け擁壁工を実施し、人家6戸の安全を図りました。

●**急傾斜地崩壊対策事業** ※平成28年度に工事を実施し完成した箇所が対象

箇所名	事業所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
田子南山	下田土木	賀茂郡西伊豆町田子	323	H23	擁壁工 L=234m
河内松尾	下田土木	下田市河内	85	H26	擁壁工 L=50m
山岸	熱海土木	伊東市湯川	187	H24	法面工 L=80m
上船原浜井場	沼津土木	伊豆市上船原	112	H24	擁壁工 L=60m
重寺蛭子河	沼津土木	沼津市内浦重寺	152	H23	擁壁工 L=175m
崎平	島田土木	榛原郡川根本町崎平	130	H24	擁壁工 L=114m
静谷西海戸	静岡土木	牧之原市静谷	115	H27	擁壁工 L=321m
倉真三子島A	袋井土木	掛川市倉真	99	H24	擁壁工 L=98m

●**地すべり対策事業** ※平成28年度に工事を実施し完成した箇所が対象

箇所名	事業所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
松島志戸呂2期	志太棟農林	島田市菊川	256	H23	集水井1基、水抜きボーリング工2,736mほか
引佐南部	西部農林	浜松市北区引佐町狩宿ほか	210	H23	集水井1基、水抜きボーリング工1,349mほか
背山2期	西部農林	浜松市北区引佐町奥山	163	H23	集水井1基、水抜きボーリング工2,109mほか
滝沢(国交省)	島田土木	藤枝市滝沢	24	H25	横ボーリング工 L=245m

御前崎市

御前崎市は、静岡県中央最南端に位置し、北側は丘陵地帯、南側は遠州灘海岸の砂丘地帯となっています。それぞれ地形を生かした一次産業が盛んですが、中でも海が近いまちだからこそ味わえる新鮮な魚介類が自慢です。また、各種ブランド肉も揃っており、牛肉は『遠州夢咲牛』、豚肉は『遠州黒豚』、鶏肉は『遠州一黒シャモ』の牛・豚・鶏それぞれブランドが存在するという全国でも珍しいまちとなっています。食べることが大好きな方にはぜひ一度お越しいただきたい食のまちです。

食以外にもおすすめしたいのが、岬の先端に存在する白



夢咲牛ハヤシライス 道の駅「風のマルシェ」で食べられます



夜の御前埼灯台

亜の灯台で、これは百余年にわたり航海の安全を見守っていた岬のシンボルとなっています。その灯台の近くの『夕日と風がみえるん台』からの夕日は「日本の夕日百選にも選ばれたロマンチックな眺めです。水平線に眩しく輝く夕日の前で恋人の聖地『潮騒の像』に見守られながら愛を語れば、二人の愛も深まるにちがいません。また、市北側に位置する新野地区は、大河ドラマで話題となった井伊直虎を救った人物、新野左馬介公ゆかりの地でもあります。「食」「ロマン」「歴史」三拍子そろった御前崎市で皆様をお待ちしております。

菊川市

菊川市は、静岡県西部、一級河川「菊川」の中流域に位置し、遠州と信州を結ぶ「塩の道」など、ふるくから南北交通の要所として栄えたまちです。

温暖な気候にも恵まれ、市の東部には、明治初頭の大規模開拓による「日本一の大茶園」牧之原台地が広がり、「お茶のまち菊川」として広く知られています。

菊川市上倉沢にある「千框の棚田」は、伝統的な農業と生物の多様性が両立している世界的にも非常に珍しい事例であったため、平成25年5月に「静岡の茶草場農法」として世界農業遺産に認定されました。

棚田では、6月に田植え、10月に稲刈り作業が手作業で行われ、あぜ道に約1,300本のろうそくの炎がゆらめく「棚田であぜ道アート」が開催されています。

また、菊川市下内田では、水田をキャンパスに見立て、色の異なる古代米を植えて絵を描く「田んぼアート」が開催されています。6月に田植え、9月に鑑賞会、10月に収穫祭と一連の作業が企画され、子供から大人まで昔ながらの手作業が体験できる貴重な機会となっています。稲穂の色が異なる品種を使い分け、巨大な絵を浮かび上げており、高さ12メートルから眺める「田んぼアート」は迫力満点です。

菊川市には、他にも魅力的な観光地や行事が多くありますので、ぜひ菊川市にお越しください。



棚田であぜ道アート



田んぼアート

環富士山火山防災連絡会総会が開催される

5月16日(火)に、富士山周辺の静岡県・山梨県の16の市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が、富士吉田市民会館(山梨県富士吉田市)で開催され、静岡県砂防課はオブザーバーとして参加しました。

総会では、平成28年度事業報告、平成29年度事業計画が承認されるとともに、役員との交代があり、会長に富士吉田市長、副会長に沼津市長が選出されました。

その後、甲府地方気象台の長谷川火山防災官による「気象庁の火山監視と防災情報等について」の演題で研修会が行われました。



総会の様子

警戒避難体制の説明会を開催

5月17日(水)から6月1日(木)にかけて、土木事務所、危機管理局、市町職員を対象に、土砂災害に対する警戒避難体制の説明会を各土木事務所で開催しました。

説明会は、土砂災害防止法の円滑な区域指定や的確な警戒避難体制の構築を図るために、毎年、雨期前に行っており、今年度は、県砂防課から新たに改正される土砂災害防止法の概要や区域指定及び警戒避難等に関する留意点の説明を行いました。また、静岡地方気象台から、防災気象情報の改善や大雨警報等の基準変更に関する説明がされました。



警戒避難体制の説明会(浜松土木事務所)

スリランカ政府の防災担当者の現地研修を実施

5月18日(木)に、国際協力機構(JICA)の研修で来日したスリランカ共和国政府の防災担当者5名が県内の地すべり防止施設や砂防堰堤などの現場を視察しました。

砂防課と島田及び静岡土木事務所より防止施設の目的や構造について説明し、特に地すべりの調査・解析、施設の点検や維持管理などについて、活発な質疑が行われました。最後に「研修で学んだことをスリランカの土砂災害対策に生かしたい。」などの感想をいただき、有意義な研修となりました。



ウスイ坂南(藤枝市)の研修状況



セリガ谷沢(静岡市)の研修状況

「第10回親子で大谷崩れの森づくり」イベントが開催される

6月11日(日)に、「いのち森づくり少年団を支援する会」が主催する「第10回親子で大谷崩れの森づくり」が大谷崩(おおやくずれ：静岡市)で開催されました。

当日は、約80の親子が参加され、現地の自生種であるヤシャブシやヤマハンノキの苗木を入れた再生紙鉢を大谷崩の山腹に植樹しました。

大谷崩は、鳶山崩(とんびやまくずれ：富山県)と稗田山崩(ひえだやまくずれ：長野県)とともに日本三大崩れの一つに数えられる安倍川上流の大崩壊地で、国土交通省静岡河川事務所により床固工や山腹工等の直轄砂防事業が進められています。



植樹作業の状況



ドローンによる集合写真

平成29年度(第35回)土砂災害防止「全国の集い」 in 愛知が開催される

6月1日(木)～2日(金)に、平成29年度(第34回)土砂災害防止「全国の集い」が愛知県豊田市等で開催され、本県の「丸子芹が谷町自治会自主防災委員会」が土砂災害防止功労者として表彰されました。

この賞は、土砂災害防止に関して顕著な功労があった個人や団体に国土交通大臣が表彰するものであり、本委員会は、平成22年に県と「砂防サポートプログラム」の合意書を締結して以来、継続して砂防設備やその周辺の草刈り、清掃、点検活動を実施し、土砂災害防止施設の維持管理に貢献しました。

今大会では、「見つめよう！伝えよう！砂防の歴史～こっぴり愛知で考える明日への土砂災害対策～」をテーマに、特別講演やパネルディスカッションが行われ、またポスターセッションでは、本県の取組についても紹介しました。

2日目の現地研修会では、城山沢砂防堰堤や「昭和47年7月豪雨災害」で被害を受けた堂ノ本地区での急傾斜地崩壊防止施設の現場視察や事業説明が行われました。



「丸子芹が谷町自治会自主防災委員会」の表彰



現地研修会の様子



ポスターセッションの様子

「住民に早めの避難行動を！」土砂災害に関する防災気象情報の活用について、市町等担当者の実践的な研修を開催しました！

6月28日(水)に、市町等の砂防・防災担当職員を対象にした土砂災害警戒情報の活用に関わる実践的な研修を、県庁東館16階OA研修室で開催しました。

当日は、20市町などの担当職員30人が出席され、砂防課職員が「土砂災害全般について」の説明を行い、その後県のホームページで公開している「土砂災害警戒情報捕捉情報システム」による危険度の判定などの活用方法について、学んでいただきました。

また、静岡地方気象台土砂災害気象官から「静岡県の気象と防災気象情報」について講演をしていただき、気象庁のホームページの活用についてもご紹介いただきました。

本格的な雨季に入り土砂災害が発生しやすくなることから、参加者からは、「本システムの操作方法を理解でき、今後の業務に役立てたい。」「避難勧告等の判断マニュアルの修正に役立てたい。」など、多くの貴重な意見や感想が寄せられました。



「土砂災害警戒情報捕捉情報システムの活用演習」：砂防課職員



「静岡県の気象と防災気象情報」：静岡地方気象台土砂災害気象官

【平成29年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただきありがとうございます。



募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

【募集対象】 小学生・中学生 【応募期間】 6月1日(土)～9月15日(金)

【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。

【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 砂防班

TEL 054-221-3044 FAX 054-221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



ジオフォーラム 2017 IN 静岡

【日時】 平成29年10月13日(金) 9:30～17:00

【会場】 しずぎんホール ユーフォニア

※全国治水砂防協会静岡県支部が協賛しています。

参加
無料



8月24日(木)～26日(土) 市町長等砂防事業県外視察(北海道 利尻島)

9月 1日(金) 防災の日

11月13日(月) 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(愛知県)

11月28日(火) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)

11月28日(火) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)



【表紙写真】

高原の初夏 (撮影地:伊豆スカイライン、玄岳)

野田 茂昭さん(静岡県熱海市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

6月10日(土)今年も、「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2017～」が静岡市青葉シンボルロードで開催されました。お天気も良く多くの人に御参加いただきありがとうございました。

当日は、土砂災害啓発用グッズなどを配布させていただきました。

これからも少しでも土砂災害防止の普及啓発に役立てるよう活動していきたいと思っております。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第193号 発行日：平成29年7月15日

編集・発行：全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sabo@pref.shizuoka.lg.jp